

募集対象の取組イメージ

【部門】食料の安定供給

特に 震災復興の取組（東日本大震災から15年、熊本地震から10年にあたることなどを踏まえ）
園芸博覧会のテーマに共通する取組（来年のGREEN×EXPO2027開催に向けて）も積極的に募集します

- ▶ 国産消費の拡大(原料の国産化転換や、そうした取組への理解醸成)
- ▶ 国内生産・流通基盤の維持
- ▶ 世界の食料需給の安定

などにより、我が国の食料安全保障の確保に功績のあった企業・団体・個人

例

2025年受賞

国産消費(原料の国産化)の拡大 …外食チェーン企業の例…

- ・ 「使用しているすべての野菜を国産化に」という目標を掲げる。
- ・ 1年をかけ全店で、野菜を100%国産化。
- ・ その後、麺に使う小麦を国産化、ぎょうざ主原料も全て国産へ切り替えた。



国内生産基盤の維持 …農業法人の例…

- ・ 地元出身スタッフの雇用を通じて地域内雇用を創出するとともに、耕作放棄地を集約して再生し、地域の農地価値を向上。
- ・ 主食作物である米の生産量を拡大することで、日本の食料自給率向上と食料安全保障の確保にも貢献。

農林水産大臣賞

01 食料の安定供給

株式会社ちーの

浪江ライスシフト ～リジェネラティブ農業から日本の食を守る～



福島県双葉郡浪江町で耕作放棄地を再生し、AIやドローン等を活用した適所施肥により環境負荷にも配慮し、主食作物である水稻の生産を拡大。

国内流通基盤の維持

- ・ 全国に張り巡らせた自社工場・自社配送網を維持。
- ・ 平時からの分散拠点配置による供給継続力等、民間主導による食料流通インフラの維持
- ・ 災害時に被災地工場が止まっても、他地域工場で増産・大体供給し、発災翌日からパン・おにぎり等を緊急供給



世界の食料需給の安定 …輸出による国内供給力維持に取り組む民間企業の例…

…日本企業の技術・知見を活用して世界の食料安定供給に貢献した例…

- ・ 現地の生産者に対して自社の保有する技術やノウハウを活用して農産物の栽培や加工品質の向上に向けた技術指導を実施。
- ・ この取組により、現地の社会課題の解決に向け農業生産性や所得の向上を図るとともに、世界の食料安定供給の確保を目指す。

募集対象の取組イメージ

【部門】 食品アクセスの確保

特に 震災復興の取組（東日本大震災から15年、熊本地震から10年にあたることなどを踏まえ）
園芸博覧会のテーマに共通する取組（来年のGREEN×EXPO2027開催に向けて）も積極的に募集します

- 物理的アクセスや経済的アクセスの確保等に係る取組を行うこと

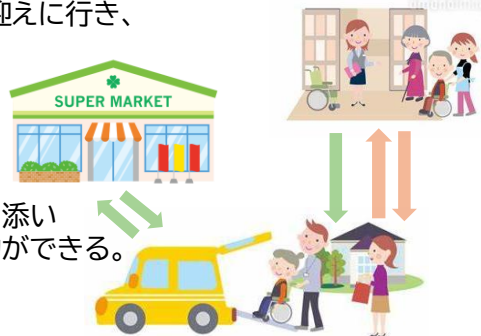
などにより、食品アクセスの確保に功績のあった企業・団体・個人

例

2025年受賞

物理的アクセス ……介護サービス企業の例…

- 自治体と連携し、施設と施設利用者の自宅間を運行している送迎車両を活用。
- デイサービス施設の利用者が、非通所日に買い物等の外出をする際に、送迎車両の経路を変更して自宅まで迎えに行き、スーパーまで送迎を行うサービスを提供。



- これにより、利用者は、家族送迎・付き添いなしで一人でも安心して外出・買い物ができる。

農林水産大臣賞

02 食品アクセスの確保

認定 NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン

日本における食アクセス確保のためのフードパントリー活動の開始・拡大と持続可能な運営のための支援



直営拠点で食支援を必要とする個人への直接支援と連携団体や福祉施設への中間支援を実施。また、食の支援ニーズが高い沖縄県において、地元団体と協働でフードパントリーを立ち上げた他、災害時には被災地において支援も実施。

経済的アクセス ……フードバンク協議会の例…

- 協議会では、経済的理由により十分な食料を入手できない者に対して多様な食料を提供することを目的として、小規模のフードバンク団体では受取困難な大口の食品企業からの寄附食品を受け取った上で、個々のフードバンク団体へ分配する仕組みを構築することによって、効率よく要支援者に対して必要な食品の提供を行っている。
- 協議会において、冷蔵庫・冷凍庫の設置や運搬車両の借り上げを一元的に行うことで、関係団体が一体となって寄附食品の受入機能の強化を図っている。

……食堂ネットワークの例…

- 食堂ネットワークでは、地域のこども食堂がひとり親世帯やその子供に対して円滑な食料提供を継続的・安定的に行うため、地域のこども食堂や食品企業、行政などが連携して、地域で支え合う体制を構築し、マッチングや情報交換会の開催、活動の情報発信、衛生管理に関する講習会の開催など、経済的アクセスの確保に向けた取組を行っている。

募集対象の取組イメージ

【部門】 持続的食料システムの確立

特に 震災復興の取組（東日本大震災から15年、熊本地震から10年にあたることなどを踏まえ）
園芸博覧会のテーマに共通する取組（来年のGREEN×EXPO2027開催に向けて）も積極的に募集します

・ 農林漁業者との連携強化、流通の合理化、消費者理解醸成、合理的な価格の形成

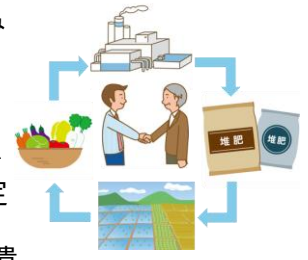
などにより、持続的食料システムの確立に功績のあった企業・団体・個人

2025年受賞

例

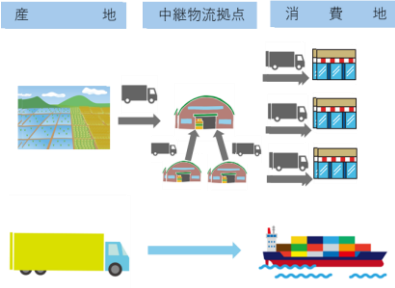
農林漁業者との連携強化 …食品メーカーの例…

- ・ 農業者、肥料メーカー等と連携した資源循環の仕組みを構築して連携を強化。
- ・ 自社の工場の製造工程で発生する食品残渣で肥料を製造し、農業者に提供、生産された農産物は自社で全量買い取り。買い取った農産物を原材料として食品を製造。当該循環スキームを通じて農業者の収益の安定化にも貢献。
- ・ 食品メーカーから社員を収穫作業の支援のために派遣。



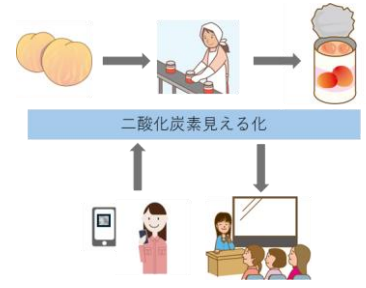
流通の合理化 …物流事業者の例…

- ・ 遠隔地の青果物を消費地に安定的に届けるためにコールドチェーン機能を備えた中継共同物流拠点を整備し、他のエリアの卸売業者との連携により共同輸配送を実施。
- ・ 併せて、環境負荷低減等の目的から輸送手段をトラックから鉄道や船舶への転換を図り、モーダルシフト率を向上。



消費者理解醸成 …食品メーカーの例…

- ・ トレーサビリティシステムを整備し、流通商品の二酸化炭素の排出量の算定(見える化)を推進。
- ・ 二酸化炭素排出量の算出が可能となる商品に関しては、その情報にアクセスできるQRコードを商品に貼付することで、関係者及び消費者の環境負荷に係る意識の啓蒙を実施。
- ・ 併せて自社の工場見学や広報誌を活用して消費者に対して情報発信。



農林水産大臣賞

03 持続的食料システムの確立

株式会社グローバルフィッシュ

産地・消費地と一体となった天然鮮魚の持続可能な需給システムの創造



水産物を速やかに衛生処理と酸化を防ぐ処理を施し、供給可能期間を延ばすことで、需要に合わせた通年安定供給を実現するとともに、大量漁獲された際には漁師が不利にならない価格で買い付けを行う。

合理的な価格の形成 …農協の例…

- ・ 生産費が考慮された価格形成の実現に向け、農業生産資材の価格高騰の影響を数値で示すため、野菜等を対象とし、県の統計を基に、生産費の上昇額を算出した試算表を作成。
- ・ 卸売会社向けに説明会を開催し、当該試算表をバイヤー等との価格交渉の場で活用することを要請。
- ・ これらの取組により、取引価格の値上げに応じる取引先も見られた。



・ 農業者・産地等によるスマート農業技術及びその効果を高める新たな生産方式の開発・普及の取組

※スマート農業技術の他、その効果を高める種苗、肥料、農薬その他の農業資材が対象になります

などにより功績のあった企業・団体・個人

2025年受賞

例

スマート農業技術の開発 …農業機械メーカーの例…

- ・ スマート農業技術である「農業用ドローン」を開発。
- ・ 1回のバッテリー充電で数ヘクタール規模までの農薬等の散布が可能で、散布量を自動調整できる仕組みを搭載。斜面や中山間地域での作業効率向上を実現。

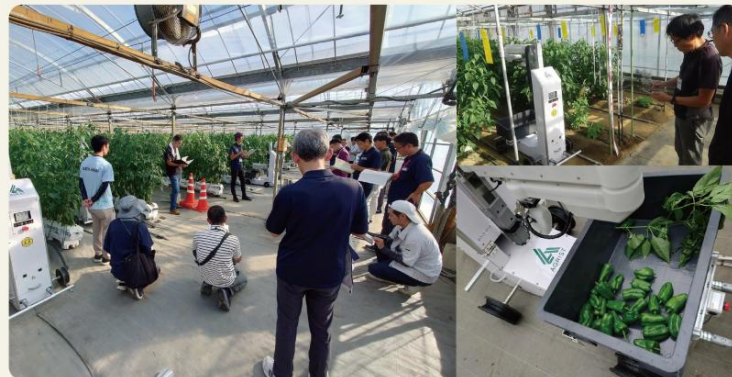


農林水産大臣賞

04 スマート農業技術等の開発・普及

AGRIST 株式会社

G7 から始まる官民連携農業プロジェクト創出事業
～自動収穫ロボットの産地導入に向けた官民農業者の連携～



地元生産者、宮崎県農政水産部と連携し、ピーマン収穫ロボットの導入実証を実施。生産者が直接運用することで現場の課題を洗いだし、かつ、ロボットが収穫しやすい方法も分析することにより、ディープテックと農業現場の知見を組み合わせた持続可能な農業モデルを構築。

スマート農業技術に適した新たな生産方式の導入 …農業者の例…

- ・ スマート農業技術である「収量コンバイン」や「データ連携玄米選別機」を導入。
- ・ データ解析の結果、品種数を増やし、品種毎に作期をずらすことで、新たな機械の導入なしに適期に収穫することが可能となり、20%超の単収向上を達成。

